

令和4年度 児玉郡市自立支援協議会 (就労支援部会)

資料1-4

	事業項目	取組状況(令和5年3月現在)	結果及び評価	令和5年度の計画
1	地域の障害福祉の資源の把握	1. 新規事業所の紹介 情報共有(随時)	1. 新規事業所を部会に招くことで、情報の確認や共有を行なうことができた。 (開所予定であった就労移行支援事業所の事業中止)	1. 地域の資源を共有できるよう、新規事業所については、継続して部会に招き相互に情報交換を行なっていく。
2	課題の抽出と対応策の検討	1. 特別支援学校の就労アセスメント実施の調整(4/20 6/15) 2. 問題提起を行った ①SNS上での誹謗中傷、書き込みに関する問題(6/15) ②重度障害者における就労アセスメントの実施の必要性と意義(8/17)	1. 対象者12名に対し、学校の夏休み期間を利用して就労移行支援事業所2ヶ所で6名ずつ実施した。現在2事業所のみで対応をしているため、今後は事業所の拡大を検討していきたい。 2. 現状の把握、情報共有を行い、課題の洗い出しを行った。	1. アセスメント事業所との連携調整を図り、方法やあり方について協議を行っていく。 2. 各事業所、関係機関で抱える問題や地域で解決を図るための検討方法について協議を行う。 3. 具体的な地域課題について協議を深めていく。
3	地域の関係機関のネットワーク構築及び相談支援体制の充実と強化に関する事	1. 相談支援部会との合同部会【事例検討】(10/17) 2. 新たなネットワークの構築について(6/15) (専門部会に参加していない事業所がつながれる場について、どのように構築していくか検討中) 3. 勉強会「地域生活支援拠点」について(12/21)	1. 相談部会、就労部会メンバーが参加し、それぞれの立場から支援案を提案し、共有できた。地域の関係機関とつながりをもつことができる機会となった。 2. 部会メンバーに対して周知を行い、ネットワークのあり方について検討を行った。 3. 地域生活支援拠点についてのイメージを深め、就労支援部会としての関わり方、連携の仕方等について検討する機会となった。	1. 次年度の開催については相談支援部会と協議の上検討。関係機関とのネットワーク強化のため、合同部会等を継続していく。 2. 就労部会としての活動を主軸とした上で開催方法等を工夫しながら構築を進めていきたい。 3. 地域全体で取り組んでいくという意識を持つことができるよう、今後もネットワーク強化に向けた研修を継続していく。
4	困難事例への支援のあり方に関する協議及び調整に関する事	1. 事例検討 ①分離不安のある学生の進路選択と支援方法(6/15) ②職業的スキルの低い知的障害者の就労定着に向けて(8/17)	1. グループワークにより本人を取り巻く関係者が取り組むべき課題や支援について検討を行った。 (①について 本人、家族、学校、医療、放デイ、相談支援事業所) (②について 本人、家族、医療、企業、就労移行支援事業所)	1. 事例検討を通して、地域で取り組むべき課題等について共通理解を図り、解決に向けた協議を行うことができるよう継続していく。 2. 過去の事例を振り返り、表面化する課題を掘り下げながら具体的な協議を行っていく。